

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	関 係 局 長	
11	小森こういちろう	自 民 党 真 政 会		

発言の要旨

1 物価高騰対策給付事業について

- (1) 令和8年に物価高騰対策事業としてバニラV i s aギフトカードを採用された自治体数
- (2) 本市と同様に全市民を対象に同カードを配付した事例における利用率
- (3) 配付世帯数、事業費の内訳
- (4) 受け取りを拒否された件数、再配達申請がなかった件数
- (5) 再配達等はいつまで対応されるか
- (6) 利用用途の把握状況
- (7) 未利用額の取扱いの考え方とスケジュール

2 空家活用アドバイザー派遣事業について

- (1) 事業の概要
- (2) アドバイザーの職種及び登録人数
- (3) 事業の周知方法
- (4) 過去3年の派遣実績及び主な相談内容
- (5) 派遣成果の確認方法及び改善状況
- (6) 課題及び今後の取組

3 子ども学習・生活サポート事業について

- (1) 学習会の実施内容と小学生及び中学生の登録人数（令和6年度、7年度）
- (2) 学習生活支援員とケースワーカーとの連携実績（7年度）
- (3) 学習生活支援員によって学習会の登録に至った人数（7年度）
- (4) オンライン等による学習支援の実施内容と登録人数（学年別に7年度、8年8月末時点）
- (5) 中学校・小学校との連携についての見解
- (6) オンライン等による学習支援の対象学年の拡充

4 地域コミュニティ協議会と町内会について

- (1) 地域コミュニティ協議会と町内会それぞれに期待する役割
- (2) 構成員の考え方
- (3) 町内会未加入者が地域コミュニティ協議会の行事に参加することに対する本市の見解

5 公園に放置された自転車・バイク等の取扱いについて

- (1) 公園に放置された自転車及び原動機付自転車の対応件数（過去3年）、内容、法・条例の根拠
- (2) 公園に放置された普通自動二輪車以上の対応件数（過去3年）、内容、法・条例の根拠
- (3) 放置物が原因で事故が起きた際の責任
- (4) 放置物に対する今後の対応

6 道路行政について

(1) 自転車走行について

- ①どのような場合に自転車が歩道を通行できるのか
- ②歩道における自転車の通行可否について通行する方々への周知方法
- ③一方通行の規制解除
- ④植樹帯を撤去して自転車走行空間を整備することへの見解

(2) ゾーン 30 について

- ①上荒田町でゾーン 30 が整備された経緯
- ②今後のゾーン 30 の整備計画（地区、取組）
- ③生活道路における法定速度が引き下げられたことによる、今後のゾーン 30 の整備の進め方

7 交通局における工事発注形態について

- (1) 併用軌道部軌道構造改良事業の概要（事業費総額、内訳、発注形態）
- (2) 近年における工事に関わる分離発注の状況や見解（建設局）
- (3) 今回の工事における分離発注に対する見解、メリット・デメリット
- (4) 特殊な資材の材料検収や品質管理方法（建設局）
- (5) 分離発注による工事にかかるトータルコストの縮減
- (6) 今後の工事発注に対する考え方

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	関 係 局 長
12	大 森 忍	立憲社民無所属		

発言の要旨

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1)防衛費増に対する市長の見解
- 2 元氣いきいき検診事業について
 - (1)主な検診の種類と対象者
 - (2)特定年齢の方を含む対象者への受診勧奨
 - (3)直近5年間の受診率と見解
 - (4)令和6年度の予算額と決算額の内訳及び不用額の内容
 - (5)受診率が伸びない原因と課題、受診率を上げるための取組
 - (6)熊本市の全大腸内視鏡検査の概要
 - (7)受診率を上げるための新たな取組の見解
- 3 認知症おかえりサポート事業と認知症の早期発見の取組について
 - (1)認知症おかえりサポート事業について
 - ①利用登録者数と協力サポーター数（過去3年）
 - ②協力サポーターのさらなる増加に向けた取組
 - (2)認知症の早期発見の取組について
 - ①他都市の状況（効果・課題）
 - ②今年度の本市における認知症の早期発見に向けた取組内容
- 4 終活の取組について
 - (1)本市における65歳以上の高齢者数（令和8年）と高齢単身者数（2年）
 - (2)終活の相談場所と相談内容及び課題
 - (3)白河市の終活事業について
 - ①リビングウィルの定義と取組の内容
 - ②終活事業実施の背景
 - ③わたしの終活登録事業の概要と手続の流れ
 - ④登録できる情報
 - ⑤事業の効果
 - (4)今後の取組に対する本市の見解

12	大 森 忍	立憲社民無所属
----	-------	---------

5 公共交通について

- (1) 東九州新幹線の概要及び東九州新幹線鉄道建設促進期成会の概要
- (2) 東九州新幹線鉄道建設促進期成会の活動内容
- (3) 今後の方向性
- (4) 指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議の位置づけと役割
- (5) 指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議の開催回数と協議内容
- (6) 指宿枕崎線輸送強化促進期成会のこれまでの取組と課題
- (7) 指宿枕崎線存続のための市長の見解

6 第二次鹿児島市公共交通ビジョン改定版及び鹿児島市地域公共交通利便増進実施計画等について

- (1) 路線バス等運行維持支援補助事業（令和2年度から8年度まで）の事業名、目的、補助対象、補助金額及びそれぞれの財源
- (2) バス路線再編について
 - ① 路線再編実施の背景
 - ② 鹿児島市内の路線バス運転者数の推移と将来予測
 - ③ 再編判断の考え方
 - ④ 路線再編の現在の検討状況と9年度以降の想定している地域
- (3) 運転者確保対策について、今後の支援の考え方
- (4) 路線再編と運転者確保についての市長の決意

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	関 係 局 長	
13	大 園 盛 仁	にじとみどり		

発言の要旨

- 1 社会福祉法等の一部改正に伴う孤独死対策への対応について
 - (1) 令和 8 年 6 月の社会福祉法等の一部改正に伴う孤独死対策への見解
 - (2) 過去 5 年間に於ける本市の孤独死者数と年代別の内訳
 - (3) 過去 5 年間に本市が行った葬祭扶助の件数、要した経費、その財源
 - (4) 社会福祉法等による孤独死対策の今後と本市の対応

- 2 都市農業センターにおける都市型農業の振興について
 - (1) 都市農業センターの設置目的と事業内容
 - (2) 過去 3 か年の来場者数（令和 5 年度～ 7 年度）
 - (3) 農業技術の実証について
 - ① 8 年度の試験内容
 - ② 農家に普及させた近年の取組
 - ③ 農産加工室・ 6 次産業化商品開発室の利用状況等
 - (4) 農業に対する理解への取組について
 - ① 市民に対しての取組
 - ② イベント数、並びに主なイベント及び参加者の声
 - ③ 四季の花園の活用状況
 - (5) センター内の市民農園ゾーンの管理について
 - ① 区画数、使用料、利用時間
 - ② 前年度と比較した 8 年度の募集状況
 - ③ 草の管理ができていない利用者への対応
 - ④ 利用者からの要望と対応
 - (6) 都市型農業振興に対する今後の取組と課題

- 3 市内の観光農園の現状と課題について
 - (1) 市内にある観光農園数と利用者の推移（過去 3 年間）、並びに経営に関する課題
 - (2) 観光農園に対する本市の支援状況
 - (3) 今後の観光農園への活用の考え方

- 4 地籍調査事業等の現状と方向性、課題等について
 - (1) 地籍調査事業の目的と期待される効果
 - (2) 平成 22 年度の事業再開後の調査地域及び令和 7 年度末時点の進捗率と年平均進捗率
 - (3) 平成 22 年度から令和 7 年度までの事業費と国・県・市の負担割合
 - (4) 調査未実施地域の面積及び現在想定する完了時期
 - (5) 今後の事業推進に向けた課題
 - (6) 街区境界調査の概要
 - (7) 市街化調整区域における今後の事業推進の考え方

13	大 園 盛 仁	に じ と み ど り
----	---------	-------------

5 市道路敷登記整備事業について

- (1) 事業の導入時期とこれまで解消できた路線数
- (2) 令和6年度、7年度の2年間に解消できた未登記道路の筆数
- (3) 7年度末時点での未登記道路の未着手の路線
- (4) 早期解消に向けた当局の見解

6 市道東俣線の田中園橋と市道下門仲組線のトンネル付近の改良工事について

- (1) 両工事の事業名と目的、主な工事内容
- (2) 令和8年度 of 取組と完了見込みを含む工事期間
- (3) 事業費の内訳（国・市）と本市の財源
- (4) それぞれの事業で竣工までに困難だった事柄

7 道路陥没の発生状況と対応について

- (1) 令和8年7月の国道3号の小山田町における陥没の規模、原因、復旧期間
- (2) 市道において過去3か年に発生した陥没数と主な原因（5年度～7年度）
- (3) 道路管理者としての今後の対応

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	関 係 局 長	
14	池 田 ゆ う せ い	無 所 属		

発言の要旨

1 路線バス・タクシーの運転者確保と地域公共交通の維持について

- (1) 路線バス・タクシーの運転者数の推移（過去5年）
- (2) ドライバーバンクかごしまについて
 - ① 事業の目標
 - ② 成果検証の手法
 - ③ 就職後の定着支援
 - ④ 潜在人材の把握状況
 - ⑤ 情報発信の取組
- (3) 運転者不足の構造的な課題に対する認識
- (4) 持続的な運転者確保と地域公共交通の維持に対する見解

2 ふるさと納税について

- (1) ふるさと納税の実績と評価について
 - ① 寄附額及び寄附件数（令和5～7年度）
 - ② 寄附額の増加に対する評価
- (2) 募集費用等に係る基準変更への対応について
 - ① 基準変更による影響
 - ② 基準変更への対応
- (3) 返礼品の適正な提供と再発防止について
 - ① 今回の事例に係る相談等の件数及び内容
 - ② 再発防止策の実施方法

3 下水汚泥の堆肥化及び資源利用について

- (1) 下水汚泥堆肥化場の現状について（令和5～7年度）
 - ① 下水汚泥の発生量、堆肥化量
 - ② 肥料の製造量、販売量、収入額
- (2) 下水汚泥堆肥化場の更新について
 - ① 事業費の妥当性
 - ② 今後の事業費増加の可能性と抑制策
- (3) 脱水汚泥の増加と堆肥化能力を超える汚泥の処理
- (4) 更新後の下水汚泥堆肥化場の規模について
 - ① 発酵日数の延長の理由
 - ② 堆肥化能力の算定基準

14	池田ゆうせい	無	所	属
----	--------	---	---	---

4 農業の有する多面的機能の発揮と新たな国の制度見直しへの対応について

(1) 中山間地域等直接支払交付金について

①本市における実施状況と推移について（平成 27 年度、令和 2 年度、7 年度）

ア．集落協定数

イ．協定参加者数

ウ．協定面積

②農地維持の成果

③担い手の確保

④今後の制度活用と地域の維持

(2) 環境保全型農業直接支払交付金について

①本市における取組状況について（平成 27 年度、令和 2 年度、7 年度）

ア．取組農業者数

イ．取組面積

②具体的な取組内容と特徴

③国の制度見直しに対する本市の対応と独自の支援に対する見解